

ドイツ連邦食料・農業省プレス公告
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO 9

NO 9

2016・3・5

1 連邦プログラム・農村の発展モデル地域—特に移住者と難民のために

(1) ヴィトミント奨励地域

この地域の将来構想は、「社会福祉上の村の発展」と「企業のイニシアチブ」の重点テーマと共に、主要テーマ「地域発展の鍵としての人口移動」である。

同時に特に企業的な移住者（訳注ポーランド等 EU 域内の移住者と EU 外の難民）が、地域発展のための自らの構想と才能を発揮し、若い人々の農村からの流出を、ストップさせるべきである。移住者は初めから歓迎の意識を感じ、村の繁栄のために持続的な滞在の展望を発展させる。

この政策は、適切に調整された社会福祉上の村の発展と企業のイニシアチブ（潜在能力）の奨励に対して、移住者を集中させるべきである。特に難民のために分散した収容と世話によって、集中的にドイツへの同化を促進することが望ましい。しかしそれには、必要なものを供給する適切な構造と住居、職業の変動性を少なくすることが前提となる。農村地域に必要なものを適切に供給できる限りにおいて、しばしば多くのボランティアの参画によって支えられる。

特に地域のそして社会との同化誘導に、示されるように。

(2) ヘクスター奨励地域

この奨励地域の将来構想は、タイトル「だからここで、だから我々が一人々は行動し価値を創造する」でもって策定された。この構想は、「我々の資源—我々の付加価値」でもって、補完される。この構想は農村の人々に向けられ、州の境界を越えた共同とネットワーク化の一貫した考え方を、追及している。

生活の備えへの挑戦のための対象グループは、青少年、職業初心者、高齢者そして難民であり、これに焦点をあてている。

具体的な対策とプロジェクトによって、教育、地域イメージの改善、専門家の教育を通じて、改善プロセスの多くが推進されている。その際、生存のための備えの対象グループの自己責任は、強化されるべきである。現代的なコミュニケーションシステムの投入、並びに専門家確保のテーマ分野において、地域経済の積極的な結びつきが計画されている。地域の価値創造に関する2つの行動領域は、再生可能エネルギーと地域産物に焦点が当てられている。ここでは特に、営業上の分野でそして近隣との結びつきにおける、新しい構想のチェックが重要である。モデル計画の中で、地域産物の経済的効率性を追及すべきである。

2 今後、馬も火葬にされるべき一動物の副産物一処分法の改正

動物の副産物一処分法の改正で、既にある馬の火葬が拡大される。今日、連邦閣議は、動物の副産物一処分法改正のための草案を可決した。同時に馬は、ドイツにおいて今後動物用の火葬場において、火葬される。これについて連邦大臣シュミットが、説明した：“我々は、この法の改正でもって動物の死後、動物用の火葬場で火葬させたいという、多くの馬飼育者の要望に応えることができる。

これまで既に長い間、家庭用動物（訳注：犬とか猫とかのペット）のために、火葬の可能性はあったが、馬にはなかった。馬は基本的な処分義務である：しかし、今後は動物の火葬場で焼却される。”この法改正でもって、管轄局の認可という前提条件のもとに、この可能性が開かれる。この法は、2011年3月に適用されたEU一規定、人間の食に供されず、衛生規則で規定されている動物の副産物に関して更新される。この副産物として、特に人間の食に供されない動物から生ずる全ての残さが、対象となる。

2016・3・7 訳 青森中央学院大学 中川 一徹
